

グループホームってどんなところ？

グループホームとは、障害のある方が必要なサポートを受けながら地域の中で暮らす施設のこと。市内でグループホームを運営している法人は3つあります。どんな方がどんなことをして暮らしているのか分からない、という方も多いのではないのでしょうか？ 今回は各施設の担当者の思い、利用者の声をお届けします。

社会福祉法人
清風会
吉田町



社会福祉法人
たんぽぽ
美土里町



社会福祉法人
ひとは福祉会
向原町



社会福祉法人清風会

吉田町内に14か所のグループホームを展開。各施設には世話人が勤務し、利用者の体調確認や服薬チェック、相談業務などを行っています。利用者は系列の工場に勤務したり一般就労したりとさまざま。コロナ禍前には一般の方が参加できるカルチャースクールを開いたり、職員が町内の店舗を回って聞き取りをして、地域の方との関係を構築してきました。「地域の方に困りごとやトラブルはないかと尋ねると、『問題があった時はその都度、利用者さんに言うから大丈夫ですよ』と仰ってください、地域で受け入れてもらえてありがたいと思うことが多々あります」と光永さん。これからも地域の方と連携を密に取り合って、いい関係性を築いていきたいと考えています。

お話を伺った方
光永 有紀さん



利用者の声



宍戸 忍さん

日曜の午前中に地域の方と一緒にやるグラウンド・ゴルフが楽しみです。きっかけは私から声を掛けたこと。「一緒にやろう!」と快く仲間に入れてもらえました。もう何年も続けています。とんどや地域清掃など、その他の行事にも積極的に参加。施設の仲間にも声を掛けて、一緒に地域の方との交流を楽しんでいます。

12月3日から9日は 「障害者週間」です

「障害者週間」とは

障害者福祉への関心と理解を深め、障害のある方が社会のあらゆる分野に積極的に参加する意欲を高めることを目的に国が定めたものです。

本市では、期間中に市内の障害者福祉施設の紹介や講演会などを開催し、啓発活動に取り組んでいます。障害のある方が抱える課題の解消や社会に不安なく参加するためには、障害者施設や利用者について市民の皆さんに知っていただくことが第一歩。今回は、障害のある方が暮らすグループホームを運営する3つの法人とその利用者にお話を伺いました。グループホームに暮らしながら、系列の作業所で仕事をしている方、地域の工場や店舗で一般就労している方など暮らしぶりはさまざま。最近では障害のある方が手掛けたアート作品にも注目が集まり、マスキングテープやTシャツ、ノートなどのグッズも販売されています。これまで障害者福祉について関心がなかったという方、まずは知ることから始めてみませんか？

期間中に開催されている
イベントはこちら

市内障害者施設紹介パネル展示

開催期間 12月1日(水)～12日(日)

会場 道の駅 三矢の里あきたかた

障害者福祉関係者や団体、当事者等で活動している安芸高田市障害者自立支援協議会が障害者理解を図るための取り組みとして、市内の施設を紹介するパネル展示を実施。施設での活動内容や利用者の作品、就労現場での製品などを紹介します。

県主催 | あいサポートアート展 WEB美術館



開催期間 令和4年1月31日(月)まで

サイト <https://aisupport-h.com/>

障害のある方が創作した美術作品の展示会。輝く感性と創造のエネルギーが込められた作品は、見る人に夢や元気、生きる力を与えてくれます。今年度はWEBで開催。作品のパワーをぜひ自宅で感じてください。

問 社会福祉課 障害者福祉係 ☎お太助フォン 42-5615